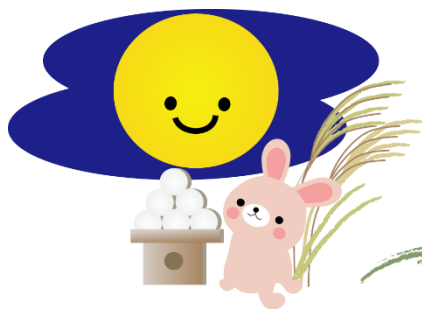




キッスだより

令和7年9月 第42号
たかといちどいキッス

♪幸せなら手をたたこう 幸せなら手をたたこう
幸せなら 態度でしめそうよ
ほらみんなで 手をたたこう♪

誰もが一度は聴いたり歌ったりしたことのある歌だと思います。この歌は、スペイン民謡ともアメリカ民謡とも言われる曲に歌詞をつけた童謡です。私はこの歌が大好きで、小さい頃からよく歌っていました。今でも記憶にあるのは、友だちと一緒に歌いながら『手をたたこう』の部分替え歌にして楽しんでいました。今、子どもたちと楽しんでいる歌詞は、『いないいないばあしよう』『あわあわしよう』です。この歌詞で歌うと、泣いていてもふっと泣き止み聴いています。そしていつしか泣いていることも忘れ、笑顔になっています。私自身も笑顔になり楽しい時間になっています。2歳児クラスの子どもたちも好きな歌詞を考えて歌っています。『バイバイしよう』『変な顔になろう』など面白いアイディアがどんどん出てきます。ぜひ子どもと一緒に歌ってみてください。

子どもの遊びを見ていると、『考える力』『やってみようとする気持ち』『試行錯誤をする力』が乏しくなっているような気がします。例えば、友だちが玩具で遊んでいる様子を見て、「かして」とその玩具を貸してもらいます。でもその玩具でどう遊べばいいのかかわからず、「もういらない」と手離します。友だちが楽しそうに遊んでいたように遊べない、楽しくないと思うようです。パズルをしていても「わからない」「どこ？」と、すぐ保育士に聞きます。粘土をしていても「つくって」と言います。自分では考えられない、受け身の遊びになってしまっているように思います。研修で聞いた話ですが、やはりここでも動画の見すぎやゲームのやりすぎということが問題になっているという話でした。動画を見て面白くなかったら、『はい次、シュ』と次の動画を見る、この繰り返しで、脳は働かないで眼だけが悪くなる一方です。

保育目標にもある『自分で考え工夫する子ども』とは？ということについて園内で研修をしました。子どもにどう関わったらいいのか？0、1、2歳にとって何が必要なのか？と話し合いました。『一人ひとりの気持ちを代弁し保育士が見本を見せる』『子どもの興味・関心に気づき環境を整えていく』『子どもが遊びの中で困っている時に、すぐに答えを言うのではなくアドバイスをすることで、諦めずにやってみようと思えるように見守る』など様々な意見が出ました。この時期に一人ひとりと十分にに関わり、『考える力』が育つようにしていきたいと思います。



北坂 美知子



9月の予定



避難訓練

1日(月)

誕生会

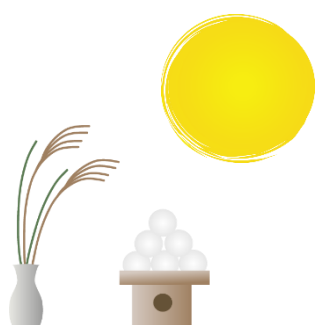
3日(水)

救急訓練

18日(金)

発育測定

19日(金)





あやひ・ひがひみ



「着替えるよ。足をあげてね!」「ばあ!手がでたね」など声を掛けたり、スキンシップを取ったりし、楽しく着替えられるように関わってきました。すると、自分から足をあげたり、「ばあー」と手を動かしたりすることが増えました。着替えに興味をもち、自分で靴下や帽子を持ってきて、身につけようとする様子も見られます。今後も自分でしようとする気持ちを受け止め、見守ったり、動きを言葉で伝えたりし、一人ひとりに合わせた関わりを大切にしていきます。

ハイハイや伝い歩き、一人歩きができるようになり、行動範囲が広がった子どもたち。様々な場所に出掛ける機会を増やし、自然と一緒に触れることで、探索を楽しめるようにしていきます。



帽子かぶれるかな?



あしでた〜



ひがひみ



先月は、様々な感触遊びを楽しみました。水遊びでは、ケチャップ容器の中に水を入れて遠くに飛ばしたり、スコップで水をすくって体につけあったりして喜んでいました。寒天や片栗粉、春雨では、不思議そうに見ている子どもたち。「これは何かな?」と声をかけながら一緒に触ると、子どもたちは「つるつる」「ちゅるちゅる」と興味をもち、寒天や片栗粉を皿やコップに入れたり、春雨を丸めたりして、夢中で遊んでいました。これからも様々な素材の感触を楽しめるよう、一緒に触ったり、子どもの気付いたことや発見したことに共感したりしていきます。

衣服の着脱をやってみようとする姿が増えてきました。仕方を丁寧に伝えたり、手を添え援助したりすることで、自分で着脱することに慣れていけるようにします。



ぎゅっぎゅっ

じゃー



ひがひみ



食事の前や戸外から帰ってきた時は、手洗い場に向かい、石けんで手を洗おうとしています。様子を見守っていると、石けんを付けた後、水を出してすぐに流そうとしていました。見本を見せながら「反対(手の甲)もごしごしして洗ってね」「綺麗に洗えているね」と声をかけることで、意識して丁寧に洗おうとしています。手についた水を拭き取る時も、一緒に拭き、最後まで綺麗に水が拭けるように関わっています。これからも、繰り返し手洗いの大切さを伝え、傍について見守ったり援助をしたりして、丁寧に手を洗う習慣が身につくようにします。

今月はサーキット遊びや表現遊びなどをして、体を十分に動かして遊べるように関わっていきます。



手の甲も洗おうね



きれいになったかな





いっしょ



先月は暑い日が続き、戸外で遊ぶことが難しかったため、室内で体をしっかり動かして遊べるようにしました。サーキット遊びでは、“ジャンプ”を楽しめるよう巧技台やトランポリンなどを組み合わせてみました。「足を曲げてジャンプするよ」と手を繋いで一緒に仕方を知らせながらジャンプすると、子どもたちは「ジャンプ」「えいっ」と言いながらジャンプしようとしていました。今後も子どもの発達過程に合わせ、様々な物を組み合わせてサーキット遊びが楽しめるようにしていきます。

便座に座ることが習慣づいてきた子どもたち。トイレで排尿することに慣れていけるよう、一人ひとりのタイミングに合わせて誘いかけていきます。



足まげて～



ジャンプ！



《花の魅力に惹かれて》



前回の特集では、今やってみたいことについて書きました。1年間があっという間に過ぎてしまい、気づけばもう2年目の夏。ピラティスに通う体力も無く、諦めてしまいました。今年こそは何か夢中になれるものを見つけようと探していました。

誕生日に友だちから花をプレゼントしてもらいました。そこから、花屋が目に残るようになりました。何で花を求めるようになったのだろう？と花がもたらす効果を調べてみました。花には、気分を明るくする・リラックス効果・疲労回復・免疫力アップという効果がありました。実際花を見ると、癒され、部屋に彩りを与えてくれるのでとても好きです。最近ではお気に入りの花屋を見つけ、ご褒美として自分にプレゼントしています。

今回は私流の花の楽しみ方を紹介します。まずは3日間ほど生け花として楽しみます。それ以降は枯れてしまう前に、花を束ねて逆さに吊るしてドライフラワーにします。一週間ほどかかりますが、その工程を見ることも好きです。出来上がった物は、家のインテリアとしてリビングやトイレに飾り、思い出として残しています。

花には花言葉というものがあり花一輪だけでもメッセージを送ることができます。私は、「希望」「前向き」と言ったポジティブな花言葉が好きです。その意味合いのある花が“ガーベラ”です。色や本数によっても意味が異なるので面白いです。又、プレゼントとして相手のことを想いながら選ぶことも、とても素敵だと思います。花があるだけで家が華やかになり、心身ともに癒され、プレゼントとしても喜ばれる。プラスなことだらけだと思います。皆さんも花を見て癒されてみてはいかがでしょうか。おすすめの花屋さんがあれば是非教えてください！



乾 光恵